



参考資料：

本資料は 2002 年 12 月 5 日（米国時間）に発表された AT&T コーポレーション、インテル コーポレーション、IBM コーポレーションならびにエイパックス・パートナーズと 3i による新会社設立に関するリリースの抄訳です。原文は <http://www.att.com> に掲載されています。

2002年12月9日

全米を網羅するワイヤレス・インターネット・アクセスを提供する コメタ・ネットワークスを設立

AT&T（本社：米国ニューヨーク州）、インテル コーポレーション（本社：米国 カリフォルニア州）、IBM コーポレーション（本社：米国ニューヨーク州）、世界的な投資会社のエイパックス・パートナーズと 3i は、各社の技術や能力を持ち寄ることにより、全米を網羅するブロードバンド・ワイヤレス・インターネット・アクセスの卸売り事業を手掛ける新会社、コメタ・ネットワークス(Cometa Networks)を設立すると発表しました。

コメタ・ネットワークスは、一般ユーザに Wi-Fi (802.11) 技術によるワイヤレス・インターネット・アクセスを提供する通信事業者や ISP、ケーブル事業者、携帯通信事業者に対し、サービスを提供する計画です。同社はまた、これらの通信事業者を通じて、企業ユーザに対してもワイヤレス・インターネット・アクセスを提供する予定です。

コメタ・ネットワークスは、全米および地域の主要な小売チェーンやホテル、大学、不動産会社と協力し、全米 50 大都市で、“ホット・スポット” 向けブロードバンド・ワイヤレス・アクセス・サービスを展開していく予定です。

コメタのサービスでは、経由する ISP や企業内 VPN、通信/ケーブル事業者を問わず、ユーザは使用している認証手法や電子メール・アドレス、ID、パスワード、決済方法をそのまま利用することができます。

コメタ・ネットワークス CEO（最高経営責任者）のローレンス・ブライアントは、「Wi-Fi は、通常的生活環境にまで分散コンピューティングを浸透させ、ビジネスの生産性向上や消費者向けの新しいアプリケーションの創出を促します。モバイルを頻繁に利用する人は、自宅を離れ、どこにしようとも、現在利用しているインターネット・アカウントで容易に資料や顧客情報、電子メールなどにアクセスできる、一貫性のある包括的なソリューションを求めています」と述べています。

ブライアントは、「Wi-Fi 技術により、モバイル・ワーカーは、働く時間や場所に関わらず、生

産性や顧客サービスの向上を図ることができます。すなわち、Wi-Fi技術は生産性を向上する強力なツールをもたらします」と付け加えています。

コメタ・ネットワークスでは、2003年に全米50大都市で、802.11準拠のネットワーク・アクセス・サービスを提供開始することを目指しています。同社では顧客や新規協力企業と現在、交渉を進めています。

AT&Tは、ネットワーク・インフラストラクチャの提供とその管理を行う計画です。IBMは、ワイヤレス・サイトの設置と業務管理システムを提供する計画です。

コメタ・ネットワークス 会長 兼 エイパックス・パートナーのジェネラル・パートナーであるセオドア・シェルは、「コメタ・ネットワークスは、小売店のブランドやサービス・プロバイダの顧客を基礎として、重大な規模の経済性を達成する予定です。コメタ・ネットワークスの目標は、全米各地で品質の高いサービスを企業ネットワークにシームレスに統合することであり、この取り組みは今後、要求の高い企業ユーザに対する試金石ともなります」と述べています。

コメタ・ネットワークスでは、サンフランシスコとニューヨークに事業所を設立する予定です。取締役会の創設メンバは、コメタ CEOのローレンス・ブライアント、エイパックス・パートナー ジェネラル・マネジャのセオドア・シェル、3i ジェネラル・パートナーのロビン・マリーで構成される予定です。

コメタ・ネットワークスの情報は、<http://www.cometanetworks.com>で入手できます。

###